

長崎県「スーパー林業特区」

～ 長崎県から創る林業革命

国際的に競争力のある、世界と戦える長崎の林業～

川上側での課題

- 森林資源の利用期を迎える一方で、所有者不明や未相続の林地が点在し、森林施業の集約化が限定

規制緩和の提案

- | | |
|---|--|
| 【地方税法】
所有者探索時の固定資産課税台帳の全面的活用 | 【不動産会社等の活用】
民間事業体（不動産会社等の活用）による林地境界の探索・確定の促進 |
| 【森林法】
固定資産税の納税者1人の同意で管理・整備を推進 | 【トラブルへの対応】
後日、所有者からの申立て等があった場合の仲裁組織を設置 |

林地の集約化の促進

- 森林整備を担う民間事業体の参入
- 良質な雇用の場の創出

川下側での課題

- 国内外での木材需要が高まる一方で、小回りのきく物流網が不十分
- 木材の輸送費用や事務負担により、輸出等の企業活動を阻害

規制緩和の提案

- | | |
|---------------------------------------|---------------------------------------|
| 【関税法】
不開港への直接入港の要件緩和 | 【検疫法】
無線検疫指定港の認定要件緩和 |
| 【貨物自動車運送事業法】
貨物運送事業の許可基準を緩和 | 【道路交通法、道路法】
特殊車両輸送許可手続きを一元化 |

輸送や手続きのコストを大幅削減
(産地に近い小回りのきく物流網の構築)

- 森林資源をトータルで商品化し、木材需要の高まるアジア向けに輸出拡大を図る民間事業体の参入
- 良質な雇用の場の創出

相乗効果

相乗効果

国際的に競争力のある、世界と戦える林業の確立

＜経済効果＞
県全体を森林整備した場合

年間売上 164億円
新規雇用 900人

※年間輸出額 21億円
(中国、台湾、韓国、ベトナム向け)